

和歌山縣報

第五百八十三號

大正七年八月二十七日
火曜 日

○縣令

○和歌山縣令第三五號

本縣原蠶種製造所原蠶種配布規程左ノ通改正ス

大正七年八月二十七日

和歌山縣知事 池松時和

和歌山縣原蠶種製造所原蠶種配付規程

第一條 本縣原蠶種製造所ニ於テ製造シタル原蠶種ハ無償ヲ以テ本縣内蠶種製造者ニ限リ之ヲ配付ス

原蠶種製造所ニ於テ製造シタル蠶種ヲ試驗研究ノ爲必要ト認メタル場合ニ於テ蠶種製造者以外ノ者ニ無償ヲ以テ配付スルコトアルベシ

第二條 配付原蠶種ノ春夏秋蠶別名稱及豫定數量ハ毎年九月之ヲ告示ス

第三條 原蠶種ノ配付ヲ受ケムトスル者ハ毎年十月末日迄ニ様式第一號ノ原蠶種配付請求書ヲ差出スヘシ

和歌山縣報

第五八三號

大正七年八月二十七日

(明治三十三年) 五月八日 第三種郵便物認可

第四條 原蠶種ノ請求數量配付スヘキ數量ヲ超過シ又ハ不當ノ請求ヲ爲シタルトキハ配付數量ヲ制限スルコトアルヘシ

第五條 原蠶種ノ配付數量ハ毎年十二月末日迄ニ之ヲ請求者ニ通知ス

第六條 原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者ハ直ニ様式第二號ニ依リ受領書ヲ差出スヘシ

第七條 配付ヲ受ケタル原蠶種ハ賣買譲渡交換又ハ廢棄スルコトヲ得ス

第八條 一代雜種用原蠶種ハ原蠶種ノ製造ニ供用スル外指定ノ組合セ以外ノモノト交雜スルコトヲ得ス

第九條 原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者ハ其ノ原蠶種一蛾ニ對シ貳拾蛾以上ノ蠶種ヲ製造スヘシ但シ第一條第二項ニ依リ配付ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十條 原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者其ノ蠶種ノ掃立ヲ終リタルトキハ直ニ様式第三號ニ依リ報告スヘシ

第十一條 原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者蠶種製造ヲ終リタル後十日以内ニ様式第四號ノ成績報告書ニ其ノ出殻繭參拾顆ヲ添ヘ差出スヘシ

第十二條 原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者大災其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ第八條及第九條ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ原蠶種製造所長ノ承認ヲ受クヘシ

第十三條 第六條第七條第十條第十一條及第十二條ニ違背シタルトキハ配付シタル原蠶種一蛾ニ對シ金拾錢ノ辨償金ヲ納付セシメ尙爾後壹ケ年間其ノ配付ヲ停止スルコトアルヘシ

附 則

第十四條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

樣式第一號（用紙半紙）

原蠶種配付請求書

化性	品種名	枚數	蛾數	請求額	原蠶種製造豫	普通蠶種製造	豫定額	平付(何蛾付)	備考
				足額	框製袋製				

右原蠶種配付規程ヲ遵守シ大正
年ニ於テ製造スヘキ原蠶種ニ供用致シ度候間御配付相成度此
段及請求候也

年 月 日

郡市 町村 字 番地

氏名印

和歌山縣原蠶種製造所長宛

備考、普通蠶種ニ袋製又ハ散卵ヲ製造セムトスル場合ハ別ニ欄ヲ設ケ記載スヘシ

樣式第二號

原種領收証

化性記號品種名枚數蛾數摘要

右領收候也

年 月 日

郡市 町村 字 番地

氏 名 印

和歌山縣原蠶種製造所長宛

樣式第三號

原蠶種掃立報告

化性

記號

品種名

配付蛾數

掃立月日

原蠶種製造用 普通蠶種製造用
掃立蛾數 掃立蠶量 掃立蛾量 掃立蠶量

飼育場所

年
月
日

氏名印

和歌山縣原蠶種製造所長宛

備考一、原蠶種製造用蠶兒一蛾別飼育ヲナササルモノハ其ノ旨附記スヘシ

二、一蛾別飼育ヲ爲シタルモノニシテ蟻量ヲ量定セサルモノハ推定蟻量ヲ記入スヘシ

樣式第四號

原蠶種飼育及製造成績報告書

和歌山縣報

第五八三號

大正七年八月二十七日

可謂欲求富強之第一要

[illegible]

催育、掃立、上簇、發蟻月日並ニ飼育産卵等ノ經過ノ大要
右出殻繭參拾顆添付報告候也

年 月 日

郡市 町村 字 番地

氏 名 印

和歌山縣原蠶種製造所長宛

備考

一、飼育ノ場所ナ異ニセルモノハ其ノ場所毎ニ調査スヘシ

二、原蠶種製造用蠶兒一蛾別飼育ヲ爲ササルモノハ其ノ旨附記スヘシ

三、一蛾別飼育ヲ爲シタルモノニシテ蟻量ヲ量定セサルモノハ推蠶蟻量ヲ記入スヘシ

四、一蛾別飼育ヲ爲シタルモノニシテ蟻量ヲ量定セサルモノハ推定蟻量ニヨリ對蟻量一匁收

繭重量ヲ算出スヘシ

五、原蠶種製造用蠶兒又ハ繭ノ検査ニ不合格トナリタルトキハ其ノ事由ヲ詳記スヘシ

六、一代雜種ニシテ指定組合セ以外ノ掛合セヲ爲シタルモノハ其ノ雌雄ノ品種名ヲ明記スヘシ

七、普通蠶種ヲ袋製又ハ散卵ニ製造シタルモノアルトキハ別ニ記入スヘシ

八、受配蛾數ニ對シ掃立蛾數ノ相違アリタル場合ハ其ノ理由ヲ記入スヘシ

○ 告 示

○和歌山縣告示第二八四號

大正七年八月二十三日那賀郡東貴志村耕地整理組合地區并設計書變更ノ件耕地整理法第五十四條ニ依リ認可セリ

大正七年八月二十七日

和歌山縣知事 池松時和

○和歌山縣告示第二八五號

和歌山市岡山町十番地
開業產婆 上野まさ
右今般轉住ノ旨ヲ以テ願出ニ依リ本日左ノ通和歌山縣產婆名簿ヲ訂正ス
大正七年八月二十七日

和歌山縣知事 池松時和
西牟婁郡日置村大字日置八九七番地
上野まさ

○和歌山縣告示第二八六號

那賀郡粉河町大字粉河一八六八番地

開業產婆

藤井春枝

右今般轉住ノ旨ヲ以テ願出ニ依リ本日左ノ通和歌山縣產婆名簿ヲ訂正ス
大正七年八月二十七日

和歌山縣知事 池松時和

那賀郡名手町大字名手市場二〇七番地

藤井春枝

○通牒

○會第五八七六號

通牒

大正七年八月二十七日

內務部長

各麻長殿

今回訓令第三〇號ヲ以テ縣費支辨內國旅費臨時増給ノ件訓令セラレ候處其請求方ニ關シ疑義ヲ抱ク向有之哉ニ聞及候付自今左記ノ例ニ依リ請求セシメ候様御取扱相成度候
記

一金何程

旅費

内
金何程
金何程
金何程
金何程
金何程
金何程
右

日 當
宿 泊 料
車 馬 賃
汽 車 賃
汽 船 賃
訓令第三〇號ニ依ル
臨時増給額

○辭 令

○大正七年八月十七日

西牟婁郡書記

小山 喜一

月俸貳拾壹圓ヲ給ス

西牟婁郡駐在所ニ命ス

山下力之助

依願免本官

○大正七年八月十九日

井口 治郎九

官幣大社熊野座神社主典ニ補ス

四級俸ヲ給ス

官幣大社熊野座神社主典

楠 正 幹

任和歌山縣技手

給月俸壹圓

内務部勸業課勤務ヲ命ス

○大正七年八月二十日

三級俸ヲ給ス

中 塚 晨

和歌山縣林業技手ニ任ス

井口 治郎九

和歌山縣立地方測候所雇ヲ命ス
月俸拾壹圓ヲ給ス

